

第56号



NPO法人ユーアイやちよ
〒276-0034
八千代市八千代台西 8-16-1
TEL.047-482-4109
FAX.047-482-4179
<http://www16.ocn.ne.jp/~uiyatiyo/>

ヘルパー業務の中の傾聴

誰かと「交わりたい」「交わってほしい」

人びとがもつ、基本的な生活欲求に「交わる」ということがあります。身体が不自由になっても、超高齢者になっても、私たち自身も人間らしく生きるための基本的な営みです。

介護保険制度による時間的制約の中でホームヘルプ業務は、介護、生活援助の手は休められない、時間が足りないなど、会話の時間が持てない悩みを抱きながら、利用者さんの「交わりたい」欲求を満足させるのは至難の業かもしれません。しかし、ヘルパーのプロとして、至難の業と甘んじることなく、訪問直後の会話や態度から、感情や気持ちを読み取り、話相手の必要性を判断することも大切と考えます。「交わりたい」気持ちに沿い、共感する時間をもつ努力が求められます。人は生きている限り、人と交わり、安心したいと思います。ヘルパーさんの来訪は「交わる」という営みの第一歩であり、その言動の中の一つが傾聴と考えます。訪問直後の会話や態度から、気持ちを読み取って、楽しく豊かな「交わり」を試みたいですね。

「語らいパートナーの会」代表 上原 君江

ユーアイやちよ「語らいパートナーの会」会員と

銚子市傾聴ボランティアグループ「月見草」との交流会

平成22年11月18日 総合生涯学習プラザ

「他市での傾聴ボランティアグループの活動の様子を聞いてみたい」ということで、市の職員さん2名と12名の会員さんが、銚子市よりわざわざおいで下さいました。当日参加のユーアイやちよ会員は16名。発足もほぼ同じ活動開始から3年目。私たちも模索しながらの活動ですが、双方の会員が混じり合ったグループワークでは、日ごろの悩みなどを話し合い、有意義な研修会が出来ました。



定例研修「精神障がい者へのよりよいホームヘルプサービスのために」

すずらん代表 黒田知映さん、サービス利用者 Tさん(22.9/18)

私たちは、精神障がいの方への理解を深めて、よりよいサービスを提供できるよう、黒田さんより「社会の中での精神障がいの方たちの現状や課題」について、また、当事者のTさんから、利用者としてのご意見、お気持ちを伺いました。以下、受講者の振り返り票から

- 日本は、精神障がい者への対応が遅れているということを確認しました。入院患者が多く、近年、障害者福祉手帳の所持者が増えているのは社会的状況が大きく影響しているのではないかと思います。精神障がい者が老いたときの受け入れ施設が心配だと話されていたことが気になり、心に残りました。
- 精神障がいをお持ちのご本人からの話が聞けてよかったと思う。居宅サービスを受けて、人との関係づくり、話相手ができるようになったといわれるように、私たちも心配りを心掛けたい。気長に生活を支えていくのも大事。
- 利用者さんのペースに合わせて信頼関係を作り、あせらずに、その方の奥にあるものを引き出せるよう、そして、当たり前前の生活が出来るように、お手伝いしていけたらと思う。



ふれあいサロン高津 (H22. 11. 16)

[さわやか福祉財団] 居場所ツアー、訪問時のサロンの皆さんの様子



みんなで体操



おしゃべりしながらティータイム

「よくしてくれてありがとう」

「こんな役割をもたせてくれてありがとう」は 同じ価値！

どこで聞いたか思い出せません。有償、無償に関わらず、こんな気持ちで接すると、相手に負担をかけず、私たちも豊かな気持ちになれますね。

椎名

平成22年度8月以降 賛助会員となられた方がた

Y.N、T.S、K.A 様

ご支援をいただきありがとうございます。



● 微笑みの輪 ～ヘルパーのリレーメッセージ～

辻 誠逸さん

- (1) ユーアイやちよに入会してどのくらい？ 6年10か月
 (2) 好きな言葉は？ 感謝, 信頼
 (3) 仕事で心がけていることは？ 笑顔, 声かけ
 (4) 利用者さんとの思い出、心に残っている言葉は？
 ・失語症の方とコミュニケーションがとれて、笑顔に出会ったとき
 ・「ありがとう」の言葉
 (5) 仕事以外で楽しいことは？ 旅行, ドライブ



次回のヘルパーさんをご紹介ください

光永さん

「笑う介護士の革命」 袖山卓也氏の 講演を聴いて

ふれあいプラザ 11/24 八千代市介護事業者協議会・八千代市主催

介護職は、いつも利用者さんと共に笑ったり、泣いたり、いつも心に寄り添うことを忘れてはいけない。心と身体は連動している。相手が生きていて良かったと思えるような介護をしなければいけない。とかく、身体が動かなくなるようリハビリをしなければ！とか、認知症にならないように脳を活性化させなければ！とはいうが、その人が何をのぞんでいるかの気持ちを理解することを置き忘れていて！との熱い講演に感動しました。 賢賀節子



増えている「自己肯定感の低い子どもたち」からいろんなことを学びたい

先日、あるNPO法人の方から、自己肯定感の低い子が千葉県内で増えているという情報をいただきました。千葉県だけの特殊事情ではなく、日本中で増えているのではないのでしょうか？

子どもたちの自己肯定感が低い大きな理由は、児童虐待ですが、虐待にまで至らなくても、子どもたちのあるがままの気持ちを認めない大人の気持ちにも大きな原因があると思います。

大人は、礼儀正しく、誰とでもいつも笑顔で接し、しっかり勉強して良い成績を収め、良い大学に進学して、一流企業に勤めることを、幸せになるための方程式のように思い込み、わが子をそのレールに乗せようと一所懸命にがんばります。しかし、その方程式には、あるがままの自分やあるがままのその子を大切にできる視点がありません。大人の言うことを聞く子どもは大切にされますが、聞かない子は「それではだめだ。こうしろ。」と否定されたり、指示されたりし続けます。自分を出すことを許してもらえず、自己肯定感が低くなっていきます。

否定されたら素直でいられないのは、大人も一緒です。いろんな人との出会いがありますが、中には困った人だなどと思う人もいます。でも、その人を否定しても何も良くなりません。肯定される中でこそ、やさしい心も育つように思います。

大人からも、子どもからもいろんなことを学んでいきたいと思っています。学ばせてもらっていることに気づくことは、そのまま感謝の気持ちですから。

網干勝

★行事報告

- 22年 7/17 定例会 研修「在宅でのターミナルケア」大和田訪看 大河内所長
 8/21 千葉県たすけあい協議会 印旛ブロック情報交換会 栄町
 8/26, 9/2, 9/7 千葉県主催「NPOと行政の連携事業」事例報告
 9/18 定例会 研修「精神障害者へのよりよいホームヘルプサービスのために」
 すずらん 黒田所長 利用者 田井重利さん
 9/22 訪問介護 9/30 居宅介護支援 千葉県集団指導
 10/6, 10/9 認知症サポーターキャラバン “寿学習教室” “コバ塾”
 10/16 定例会 研修「法令順守・リスク管理・緊急時対応」
 10/19, 10/26 傾聴ボランティア スキルアップ 講座
 10/27 介護サービス公表調査 訪問介護, 居宅介護支援
 10/28 介護サービス事業者協議会研修「訪問介護サービスの留意点」
 11/14 訪問介護フォーラム2010 千葉市生涯学習センター
 11/16 「ふれあいサロン高津」に“さわやか福祉財団関東ブロック”の
 インストラクター18名が居場所ツアー研修に来訪
 11/18 「語らいパートナーの会」と銚子市傾聴ボランティアグループ“月見草”と
 交流会 八千代市総合生涯学習プラザ
 11/20 定例会 研修「認知症について」
 11/23 八千代市民活動サポートセンター祭り やちよ緑が丘イオンの広場
 11/24 事業者協議会研修「笑う介護士の革命」 袖山卓也氏 ふれあいプラザ

☆行事予定

- 12/18 定例会 研修「調理実習」「ヘルパーの健康体操」
 23年 1/15 新年会
 2/19 定例会 研修「コミュニケーション技術」
 3/19 定例会



編集後記

今年は、みなさまにとってどんな年だったでしょうか？ 不景気で、巷には働くことのできない若者があふれています。このような非常に厳しい状況であるからこそ、若者たちには、何か信念を持って生きてほしいですね。私は、先日、ひきこもり支援相談士という資格を取りました。心のことで、苦しむ若者たちの力になりたいと思っています。来年は、介護福祉士と不登校訪問専門員の資格にもチャレンジしたいと思っています。いつまでもチャレンジ精神を持って生きていたいと思います。

網干

ユーアイやちよ の あゆみ
 編集人 網干 勝 発行人 桃井 哲朗